

# 図書館ホームページの魅力〈18〉

## 新学期を迎えた皆さんへ



佐藤 清香

突然ですが、皆さんは図書館を訪れた時に真っ先に出迎えてくれる玄関ホールに設置された彫刻が誰の彫刻か知っていますか？また、この図書館報「GAIDAI BIBLIOTHECA（ガイド・ビブリオテカ）」の表紙に掲載されている本がどのような本か、知っていますか？私は、これらの答えを全て図書館のホームページ内にある「世界の美本ギャラリー」で知りました。今回はその「世界の美本ギャラリー」をここでご紹介したいと思います。

「世界の美本ギャラリー」には、「貴重書デジタルアーカイブ」、「文明開化期のちりめん本」「世界の古聖書と宗教関係書」、「世界の文学と民話」、「世界の古刊地図と探検」、「ニッポナリア」、「世界の古辞書・古事典」「我が国の対外交渉史料」、「世界を変えた理論」、「その他」といった全部で10項目のギャラリーがあります。例えば、はじめに挙げた「貴重書デジタルアーカイブ」では現在、18世紀から19世紀にかけて日本で編纂された語学辞書がずらりと並んでいます。そして、このギャラリーの見どころは、展示されている全ての本が電子化されており、詳しい内容を自ら見る事ができるという点です。次にあげた「文明開化期のちりめん本」では数多くのちりめん本と呼ばれる、明治時代に多く作られた日本の神話や御伽草子を題材とした欧文和装本のコレクションが、日本語と英語のあらすじや注釈とともに紹介されています。また他の8のギャラリーでは、過去

にこの図書館報の表紙を飾ってきた書物や、本図書館の展示目録で取り上げられてきた書物の詳細などが掲載されています。このように、このページでは世界の歴史的な書物や、ものが多く紹介されています。そして、冒頭で皆さんにお聞きした謎の彫刻についての答えは、「その他」の欄で紹介されていました。この彫刻は、マーシャル・ウッドというイギリスの彫刻家によって刻まれた、チャールズ・ディケンズの彫刻だそうです。チャールズ・ディケンズと聞いてピンとこない人は、『クリスマス・キャロル』の著者だといったらわかっていただけるでしょうか。そして、私はこの彫刻が作られた年をホームページで知って驚きました。この彫刻が作られたのは、1850年頃。つまり、今から約160年前にこの彫刻はすでに世の中に存在していたのです。

このように、図書館に設置されているふとしたものや、館報や展示目録に掲載されている書物の一つ一つに、歴史や、背景があります。そういった歴史や背景を知る事によって、図書館を訪れる事がちょっとした冒険になるのではないのでしょうか。今回、私がここでご紹介したものは図書館のほんの一部に過ぎません。皆さんもこの図書館のホームページを利用して、図書館や世界を冒険してみてください。きっと「新しい」世界が広がりますよ。

さとう きよか（日本語学科4年次生）